

MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

MCN REPORT

大学生生活の頼もしい味方
～三重県立看護大学生協～

Vol.41
2019.11



大学生生活の頼もしい味方(1・2ページ)



みかんだいオープンキャンパス2019(3ページ)

主な内容

大学生生活の頼もしい味方 ～三重県立看護大学生協～	1・2
みかんだいオープンキャンパス2019 高校生と保護者など525名が参加	3
連携協力協定病院(三重県立一志病院)	4
業務実績評価結果 地域貢献等で「S」評価	6
地域交流センター 第2回公開講座	6



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」

大学生生活の頼もしい味方

～三重県立看護大学生協～

平成15年、当時の学生たちの強い後押しで設立された三重県立看護大学生生活協同組合(大学生協)は、学生・教職員の出資により運営されています。すべての学生や多くの教職員が加入しており、学生たちの日々の生活になくてはならない存在となっています。

大学生協の主な事業

- 売店(ショップ ドリームヒル)の運営
- 食堂(カフェテリア ドリームヒル)の運営
- パソコンの販売
- 自動車学校の入校斡旋
- 国家試験模擬試験や各種講習会の申し込み受け付け
- 学生向け共済・保険の運営



大勢の学生が参加する総会

売 店(ショップ ドリームヒル)

実習棟1階にある売店では、教科書や実習教材、文具から、おにぎり、サンドイッチ、パン、ドリンクやお菓子まで、学生生活に必要な物品や書籍を販売しています。人気のみかんちゃんグッズも並び、お店にない商品は取り寄せにも対応しています。

そのほか大学生協の総合窓口として、パソコンの販売や自動車学校への入校、学生向け共済・保険への加入、国家試験模試や各種講習会の申し込みの受け付けも担っています。



売店 SHOP Dream Hill

食 堂(カフェテリア ドリームヒル)

日差しがたっぷり降り注ぐ食堂は、2限目が終わる正午過ぎになると、多くの学生たちでにぎわいます。

好きなメニューを選んで最後に精算するカフェテリア方式。どれもお手頃な価格設定で、しかもおいしいと学生たちに好評です。

安全・安心で旬な食材を使ったり、学生のリクエストから新メニューが登場したり。プレミアムが付いた年間食事プラン「食堂パス」なら充実した食生活にもつながります。ICを組み込んだ組合員証は、キャッシュレスにも対応した電子マネー機能付き。100円ごとに1ポイントもらえる生協ポイントが、来年6月まで国の5%ポイント還元で上乗せされるため、さらにお得です。



食欲をそそる豊富なメニュー



人気メニューのランチセット



食堂 CAFETERIA Dream Hill

大学生協理事インタビュー

組合員の出資によって設立された大学生協の役員は、学生、教職員等が務めます。

今年度の理事を務める窪田^{くぼた}絢巴^{あや}さん(2年生)、大石^{おおいし}有亜^{ありあ}さん(2年生)に、お話を聞きました。

Q ふだん、どのように利用していますか

【食 堂】

窪田 友人と昼食に利用しています。おかげで、毎日、友だちと楽しくお昼の休憩が取れています。

大石 私もほぼ毎日利用しています。ランチの種類が多く、好みや気分に合わせて選ぶのも楽しみです。

【売 店】

大石 食堂が営業していない日や小腹が空いた時に、よく利用しています。

窪田 勉強の合間の息抜きにお菓子を買ったり、文房具、時には参考書を見たりすることもあります。

Q 大学生協の印象は

大石 「ひとことカード」でリクエストすると、必ず回答があり、商品やメニューが追加されることもあるので、学生に近く寄り添った生協だなと感じています。

窪田 食堂が毎日にごわうのは、日替わりもある豊富なメニューが充実しているからだと思います。売店も学生の声に応える品揃えで、快適な学生生活の手助けになっています。

Q 大学生協の今後について

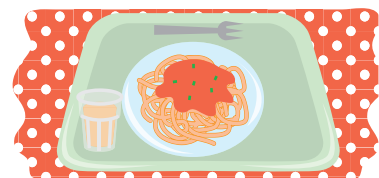
窪田 好きなお菓子、好きなメニューのアンケートを取ってランキングにすれば、より学生のニーズに沿った商品提供ができるのではないかと思います。

大石 学生同士で「こんなものがあればいいのにね」と話すことがよくあります。女性が多い大学なので、女性向けの商品やランチが増えるのはうれしいです。

いつもみかんだい生の傍らにある大学生協。これからも学生たちと共に歩いていってほしいですね。お話を聞かせていただき、ありがとうございました。



今年度、大学生協の理事を務める窪田さん(左)と大石さん



みかんだいの「みかん狩り」



平成21年4月の法人化を記念して、正門から続くアプローチに植樹された極早生温州みかん「みえ紀南1号」の収穫作業が、10月16日に行われました。

今年は、天候の関係でやや小ぶりでしたが、例年を上回る1,029個のみかんが収穫されました。学生ホールで2箱分が振舞われると、学生たちは喜んで穫れたてのみかんを手にとっていました。



法人化を機に植樹されて10年



教職員の手にて収穫作業



一つひとつついでに



学生にも振舞われたみかん

みかんだいオープンキャンパス2019



高校生と保護者など525名が参加

8月31日、みかんだいオープンキャンパス2019を開催しました。

台風接近で中止になった7月27日から一月遅れでの代替開催でしたが、高校生と保護者など525名の方々にご参加いただきました。

講堂での受付の後、大学紹介や入試の説明を受けた来場者の皆さんは、各ブースに分かれて体験・展示や模擬授業、相談などに臨みました。

体験・展示ブースでは、スタッフから指導を受けた生徒たちが血圧測定や心音聴取、赤ちゃんの身長・体重計測、心肺蘇生に挑戦したり、タイやイギリスで行われる国際看護実習に思いを馳せたりしていました。

未来面接や学生相談では、進路をめぐる悩みなどを打ち明けました。

模擬授業では、19世紀の小説を通して、作品に描かれる医師の判断の是非に迫ったり、安全で正確な看護を実践するための知識と方法について考えました。

各ブースでは、担当教職員に交じって43人の学生スタッフが活躍。本学学生との学生生活などの質問や会話は、緊張気味の生徒たちの気持ちを優しくもみほぐしたようです。来場者アンケートでは、「親切にいただいた」「気持ちよく参加できた」など、多くの方々から好評価をいただきました。



人形を使った心臓マッサージの実践体験



現役学生から聞く学生生活の実際



英文学から看護をひもといいた模擬授業

脇坂広報ワーキンググループ長インタビュー

広報ワーキンググループ長として、みかんだいオープンキャンパス2019をリードした脇坂 浩准教授(成人看護学)にお話を聞きました。

Q オープンキャンパスを終えた今のお気持ちは

脇坂 学生と教職員との「気心の知れた関係」は本学の特色の1つですが、年に1度のオープンキャンパスでもそれが生かされ、来場者に気持ちよく体験していただけたとしたらうれしいです。

Q 初めての開催中止と一月後の代替開催でしたが

脇坂 代替開催にもかかわらず例年並みの来場者数を得たことは、本学への関心の高さの表れです。今後は天候の影響も日程に考慮し、より参加しやすくしていきます。

Q 学生スタッフが活躍でしたね

脇坂 全学年からの協力を得られたことで、連帯感ある雰囲気でお迎えすることができました。学生スタッフのおもてなしの心と自立した姿こそが、今回の一番の売りでした。

Q ご来場いただいた高校生・受験生に、一言

脇坂 数ある大学の中から本学に足を運んでいただき感謝しています。皆さんの輝く未来への道しるべを探すお手伝いができたなら何よりです。またお会いできる日を楽しみにしています。

より多くの高校生・受験生に本学を知っていただき、受験したいと思ってもらえるよう、今後もより満足度の高いオープンキャンパスをめざして取り組んでいきます。



脇坂 浩准教授(成人看護学)

連携協力協定病院

連携協力協定病院のご紹介 ～三重県立一志病院～

看護部のビジョン

「プライマリケア・エキスパートナース となり、住民から信頼される看護師 になる」

当院は、津市南西部の、青山高原を望む小規模病院で、常勤医師は全員総合診療科です。最期まで安心して地域で生活し続けられる医療を提供し、全国の医療過疎地域にとってモデルとなる病院を目指しています。訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーション・訪問栄養指導・訪問薬剤指導などの在宅医療を提供しています。

看護部のビジョンは、「プライマリケア・エキスパートナースとなり、住民から信頼される看護師になる」を掲げています。

プライマリケア・エキスパートナースとは、身近にあって何でも相談にのれる総合的な看護を提供し、地域で大切にされる心を持ちながら、自信や誇りをもって長く働き続けることができる看護師をいいます。院内だけでなく保健や福祉と連携を行い地域包括ケアシステムの中でリーダーシップをとれる看護師育成を目指しています。

現在、連携協力協定病院として、総合実習や地域在宅看護学の臨地実習場として活用していただいております。今後も連携を大切に、看護の質の向上に取り組んでいきたいと思っております。

(看護部長 澁谷 咲子)



三重県立一志病院



病院スタッフによる手づくりイベント
一志病院まつり「健康のつどい2019」

病院情報

三重県立一志病院〔昭和23年11月開設〕

❖ 病床数：86床（一般病床46床、療養病床40床）

療養病床は現在休床しています

❖ 診療科目：内科、外科、眼科

❖ 職員数：75人（うち看護師40人）（令和元年10月1日現在）

連携協力協定病院一覧

県内11病院

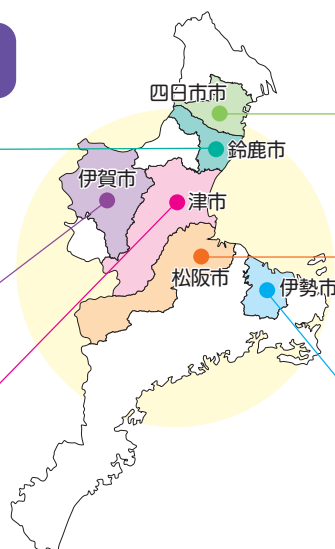
● 三重県厚生農業協同組合連合会
鈴鹿中央総合病院

● 社会医療法人畿内会 岡波総合病院

● 三重県立こころの医療センター

● 独立行政法人国立病院機構 三重病院

● 三重県立一志病院



● 地方独立行政法人
三重県立総合医療センター

● 松阪市民病院

● 社会福祉法人恩賜財団
済生会松阪総合病院

● 三重県厚生農業協同組合連合会
松阪中央総合病院

● 日本赤十字社 伊勢赤十字病院

● 市立伊勢総合病院

(令和元年11月末日現在)

大学の出来事

大学の出来事

一日みかんだい生

8月8・9日、高校生のための看護職キャリアデザイン講座「一日みかんだい生」を実施しました。参加した高校生は2日間で138名。数人ずつのグループには本学4年生が2～3名つき、ファシリテータを務めました。生徒たちは、看護職者から聞く体験談やワークショップでの意見交換を通じて、自らのキャリアデザインについて考えを深めました。一方、4年生からも「生徒たちの新鮮な言葉に初心を思い出した」との声が聞かれ、高校生、本学学生双方にとって自分を振り返るひとときにもなりました。



公立大学協会看護・保健医療部会の開催

8月26・27日、本学にて公立大学協会看護・保健医療部会(部会長: 本学菱沼学長)の総会・分科会を開催しました。

部会では、看護・保健医療関連学部共通の教育研究等に係る課題解決に向けた講演や大学間の情報交換のための講演会や分科会を毎年開催しています。

45大学の代表者約60名、本学教職員約40名が参加し、看護系人材充実に向けた国の動向などの講演、実習の指導体制の取り組みなど3分科会に分かれ情報交換を行いました。



国際看護実習Ⅱ

イギリススコットランド グラスゴー大学との交換留学協定に基づき、9月23日から約2週間、本学4年生2名がグラスゴー大学を訪れ実習を行いました。

研修生は、同大学での講義や関連施設の見学を通じて、イギリスと日本の看護及び保健医療の違いを学びました。

実習期間中、ホストファミリー宅に滞在し、現地の文化や生活習慣も学んだ実習生。実習先では、6月に来学した際に共に学んだ2名の学生とも再会を果たし、学生同士の親交は一段と深まったようです。



県内病院等看護管理者意見交換会

10月10日、県内の36病院等の看護管理者をお招きし、本学学長との意見交換会を行いました。地域に貢献する看護職者の育成と県内看護職者の支援を担う本学として、地域の医療機関のニーズを把握し連携を一層深めるために、例年開催しています。

看護の現状や話題提供の後、教育・実践、双方の現場から率直な意見交換が行われました。その中で、本県における医療現場の現状や働きやすい職場環境、本学への要望など、多岐にわたる発言が交わされました。



業務実績に関する評価結果

地域貢献等で「S」評価

県の附属機関である三重県公立大学法人評価委員会が、地方独立行政法人法に基づき本学の平成30年度業務実績の評価を行い、その結果が示されました。

評価は、項目別評価と全体評価で構成され、このうち全体評価では、昨年度に引き続き「年度計画を計画どおり遂行しており、全体として中期計画を順調に実施している」と評価されました。

項目別評価では、「地域貢献等に関する項目」で2年連続の「S」評価(最高ランク)でした。これは、認定看護師教育課程「認知症看護」をはじめとする、地域交流センターが行う本県の医療課題にマッチした多くの講座や研修事業が高く評価された結果です。

また、今年度は、第二期中期計画(平成27年度～令和2年度)の実績見込みについても評価が行われ、順調な進捗が確認されました。本学としては、今回の評価結果を活用し、大学運営のさらなる充実に取り組んでまいります。

●平成30年度業務実績に関する評価結果の概要

大 項 目		評 価
Ⅰ 大学の教育研究等の向上に関する項目	1 教育に関する項目	※
	2 研究に関する項目	
	3 地域貢献等に関する項目	S
Ⅱ 業務運営の改善および効率化に関する項目		A
Ⅲ 財務内容の改善に関する項目		A
Ⅳ 自己点検・評価および情報の提供に関する項目		A
Ⅴ その他の業務運営に関する項目		A

[評価点]

S=特に優れた実績を上げている

A=順調に実施している

B=概ね順調に実施している

C=十分に実施していない

D=大幅な見直し、改善が必要である

※教育研究の特性に配慮すべき項目については評価は行われず、事業(教育内容、教育の質の向上及び学生の支援並びに研究水準及び研究の成果等、研究実施体制等の整備に関する項目)の外形的・客観的な進捗状況について確認されました。

地域交流センター 令和元年度第2回公開講座

10月26日、地域交流センター第2回公開講座を開催し、223名の方々にご参加いただきました。

講座では、陸上競技選手で2016年リオデジャネイロパラリンピック競技大会日本代表・メダリストの佐藤圭太さんから、「夢に向かって——最初の一步に勇気をパラリンピックへの道——」をテーマに、講演をいただきました。

佐藤さんは、中学三年生で悪性腫瘍が見つかり、足の形をできるだけ残すのか、切断するのかの選択を迫られた時、後者を選んだことがパラ選手への道につながったといいます。

——自分の意志で決める。メガネと同様に義足をその人の特徴と考える。コントロールできないことはあきらめ、できることに全力で挑む。

若いメダリストが語る、自らの経験に基づく示唆あふれる言葉の数々は、説得力に満ちていました。



多くの学生たちも耳を傾けた公開講座

さらなる発展と人材育成の充実に向けて ～学生の修学支援のための基金への寄附のお願い～

本学では開学20周年を契機に学生の修学支援に活用するための基金を創設し、平成29年9月に同窓会や後援会等の皆さまに寄附を募ったところ、多くの皆さまからご厚志を賜っております。

この基金は、「みかん大進学支援給付金」の財源として、三重県の保健・医療に貢献する意欲があり、本学への進学の目的及び意志が明確であるにもかかわらず、経済的理由により進学が困難な人への入学時の給付金に充てられます。

継続的に安定した学生への支援を可能とするため、引き続き、皆さまの格別のご協力とご支援をお願い申し上げます。

◆令和元年11月末現在の状況

寄附総額 6,155,000円

寄附者数 個人 50人
法人・組織 12団体



■お知らせ■

本寄附金は、総務大臣及び文部科学大臣の承認を得て、所得税の税額控除の対象となりました。詳細は事務局までお問い合わせください。(平成31年1月～令和5年12月寄附分)

お問い合わせ

寄附に関すること：事務局企画総務課

給付金に関すること：事務局教務学生課



公立大学法人

三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘一丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

<http://www.mcn.ac.jp/>



本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大（みかんだい）」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。

広告



財) 日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院
社会医療法人畿内会



岡波総合病院

okanami general hospital



急性期から施設・在宅まで
さまざまな場面で看護に取り組んでいます。



〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町1734番地 TEL:0595-21-3135(代)